

きなりの郷

下北山



# 令和5年度 施政方針

令和5年3月下北山村議会定例会の開会にあたり、新年度の施政方針と主要施策の概要等についてご説明申し上げ、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症ですが、年明けから新規感染者数が全国的に減少傾向に転じ、政府は5月8日から分類を季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げすることを決定するとともに、5類移行に伴う新たな指針も示されました。今後、5類

への変更が速やかに行われ、また村民の皆様は混乱が生じないよう、国・県との連携により周知等の徹底をはじめ、関係機関との協力など、ウィズコロナ・アフターコロナでの対応に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

さて、国の令和5年度予算案ですが、2月28日に衆議院本会議を

通過し、年度内に成立見込みとなりました。防衛力の抜本的な強化を目的とした防衛費の増加などにより、一般会計予算案の総額が、1兆4千億円となり、4年度当初予算1兆7千6百億円から6兆8千億円膨らみ過去最大を更新しました。

そして、令和5年度予算には、岸田総理肝煎りの政策であるデジタル田園都市国家構想の実現に向け、新たに創設した「デジタル田園都市国家構想交付金」(1,000億円)等により、引き続き地方におけるデジタル実装やデジタルの活用による地方創生の取組みを支援するための予算も盛り込まれております。

村では令和5年におきましても、国の補助金など有利な財源を積極的に活用して持続可能な村づくりを進めていくことが重要であると考えています。下北山村は、人口が少なくても都市とは異なる独自の価値を持っていく村です。村特有の多様な豊かな地域資源を活用することにより、今までとは違う新たな生活の仕組み作りやビジネスを興すことができる人材の育成、あるいは人材を呼

び込むことによって、人口減少社会における新しい仕組みを構築していくことが重要と考えています。

幸い、少しずつ成果が見え始めた移住定住に繋がる関係人口の創出事業、自伐型林業の更なる推進、そして下北山スポーツ公園を始めとした観光の振興、子どもたちの未来に向けた教育の推進、子育て支援や高齢者支援、村の担い手となる人材の育成等に努め下北山村に住んで良かった、行って良かったと思える村づくりを引き続き進めてまいります。

そのような中、役場庁舎の移転改修につきましては、移転事業に係る基本計画及び実施設計委託業務を令和3・4年度にかけて行い、議会及び住民代表検討委員会の皆様のご意見や、広報特別号での村民の皆様のご意見を聞きながら実施設計を進めてきました。当初お示しました改修案から、物価や労務単価等の高騰の影響を受け、本体改修工事では約1.28倍の事業費となっております。

併せて、老朽化した教職員住宅の環境改善を図るため、令和5・6年度の2カ年に亘って住宅の整備事業

を実施します。そのために、令和4年度に自然教室(旧池原小学校)の解体工事が終了し、その跡地に集合住宅形式で教職員住宅建設計画20戸のうち、令和5年度において10戸分の新築工事を行います。

更に、診療所の立て替えについては、旧小学校グラウンド敷地内に新築する案が同意されており、令和5年度において基本計画・実施設計業務の予算を計上しております。このように、令和5年度及び6年度にかけて役場庁舎及び診療所、駐車場整備、周辺道路整備を実施し、令和7年度から新たな場所での役場及び診療所がスタートできるよう計画しております。

以上のようなことを踏まえ、令和5年度予算編成に当たっては、全ての分野において効率的な事業執行を意識して予算編成に取り組みました。そのための予算として、一般会計で26億3,100万円、前年度比プラス7億9,600万円、約43.4%の増となっております。特別会計7会計の合計は、6億7,273万5千円で、前年度比プラス2,572万4千円、約

4. 0%の増となっております。一般会計と特別7会計の合計では、33億373万5千円で、前年度比プラス8億2,172万4千円、3.3. 1%の増となっております。

まず歳入において、歳入の柱となる村税では前年度より596万7千円の増額を予定しております。個人及び法人の村民税につきましては、前年度より減収を見込んでおりますが、固定資産税につきましては、償却資産(電源開発関係等)の関係で、前年度より約830万円程度の増額を見込んでおります。また、市町村たばこ税につきましては、実績で勘案し前年度比118万6千円の減額で計上しております。地方譲与税及び交付金関連につきましては、前年度並みで計上しております。

国県支出金では、昨年引き続き地方創生関連や道路整備関連の交付金や補助金を見込んでおりますが、令和5年度は教職員住宅建設関連の補助金を計上しており、国県支出金につきましては、全体的に前年度より増額を予定しております。また、歳入比率の一番大きな地方交付税につきましても、前年度より1千万円

の増で予算を計上しております。地域デジタル社会推進費が引き続き算定されることや個別算定経費及び包括算定経費も前年度より増で算定されること及び辺地債・過疎債等の償還額増加に伴う地方交付税措置額の増加が要因となっております。その他ふるさと納税寄付金5千万円を計上しています。

歳出につきましては、庁舎移転改修、教員住宅建設に係る工事費用を計上しておりますので、前年度と比較し大幅な歳出増となっております。

今後も、インフラ整備や老朽化した公共施設整備などには、引き続き多額の費用が必要となります。それに伴い、基金からの繰り入れや村債の発行につきましても、令和5年度以降も計画的に実施していく予定です。

なお、村債につきましては、例年同様に財政負担を軽減するため、後年度に財政措置のある過疎債や辺地債等、交付税算入率の高い有利な村債の発行を見込んでおります。

### 森と生きる「仕事づくり、ものづくり、ひとづくり」

#### ◆持続可能な森林づくりとして

令和4年度に創設した補助制度を活用し、森林所有者と長期的に管理協定を締結し、放置された森林を解消し災害に強く100年、200年と続く持続的な森林経営管理を目指し、村による民有林の公的管理「森林経営管理事業」を引き続き進めていきます。その財源として、国の森林環境譲与税や県の森林環境税等を活用します。そして、その中で自伐型林業の担い手である地域おこし協力隊の卒業生等、今後の林業分野における担い手の育成にも配慮していきます。

平成30年度から再稼働した林産加工施設については、本村の林業振興の拠点施設として、林産物の利用促進と雇用の場の確保を図るとともに、今後予定される公共施設の建設等の木質化も推進し、村内で素材から加工までの一連の流れを全て完結する6次産業化を引き続き目指し、継続した管理運営を指定管理者と協力して進めます。また、指定管理者につきましても、令和4年度末で管

理期間が終了となるため、2月21日に開催した指定管理者選定審査会の結果を受け、現在と同じくスカイウッド(株)を管理者とする議案を上程しています。

◆きなりブランドの研究開発として  
令和3年度に立ち上げた中間支援団体\*\*「下北山地域総合商社」では、つちのこイーツシリーズの商品開発を行ってきました。これまでに、春まな塩やジャバラ塩、クラフトビール、ジャバラビール、弘法茶及びニク春まな味噌を販売して村のPRを行っておりますが、令和5年度においても鮎やアマゴの缶詰商品など新たな商品開発を行ってまいります。

※「一般社団法人つちのこパーク」に名称変更

また、お土産品の開発だけではなく、観光客用の体験商品の開発も進めており、昨年8月からは、国の地域活性化起業人(起業人派遣制度)として、民間会社から社員を受け入れ、そのノウハウや知見を活かした取り組みを行っています。新年度も引き続き地域独自の魅力や価値の向上に努めていきます。

◆起業・就業支援としてし、利用者の中で将来的に地域の就業者として、そして起業者として定住へと繋がることを期待して取り組んでいきます。

・併せて、BIYORIIにつきましても、引き続き利用者の増加や事務所を構えてくれる民間企業へのアプローチを進めていきます。

### 森に遊ぶ「もてなし、ふれあい、感動づくり」

◆交流関係人口の拡大として

・観光拠点であるスポーツ公園は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、客足等は未だ本来の状況ではありませんが、引き続き奈良県と連携して取り組んでいる奈良県南部地域の拠点としての機能強化とスポーツ公園の活性化に向け、ソフト及びハード両面の充実を進めていきます。

・サッカー合宿については、引き続き以前からご利用を頂いているチームへの働き掛けや、現在協定を締結している奈良クラブがJ3に昇格したことから、キャンプ誘致やシーズン中のスポーツ公園及び村の情報発

進を連携して実施していきます。

・キャンプ場については、村内事業所との連携もしつつ付加価値を付けた体験商品などの開発及び販売に努め、ワーケーションの利用促進と滞在時間の延伸及び年間を通じた集客に努めていきます。また、引き続き老朽化したコテージ等の修繕を図り、利用者が満足できる環境整備を進めていきます。

・関係人口の取り組みについては、東京の学生団体「まとい」が新たなメンバーを増やすなど継続的な活動をしてきており、引き続き団体や個人の方々と下北山村との関わり取りに取り組んでいきます。

・民間事業者との交流を通じた人材育成として、村内の人材及び都市部の企業人等が参加する価値創造型人材育成プログラムを実施し、ワーケーション型プログラムの中で、多様な視点で村の課題解決に向けて行動できる中核となる人材育成を3カ年計画でスタートします。その上で、村内の主要事業のキーパーソンとして活躍できる人材育成を通じて、各事業者の活性化を後押しできるように努めていきます。

・ふるさと納税を通じた下北山村の応援者の獲得推進を図るため、ふるさと納税業務の強化とポータルサイトの構築により、応援者へのアプローチの充実を図ります。

### 森で育む「子どもの笑顔ときなりライフ」

◆転入・定住の促進として

・令和4年8月に、上池原のスポーツ公園入口横に空き家相談所を開設し、専門的なノウハウを有する空き家コンシェルジュと連携を図りながら、空き家の利活用の促進を進めてきました。新年度においては、各区での出張相談会を設け、空き家の課題解決及び利活用の更なる促進に努めていきます。また、利活用の促進のための補助制度(整備及び取得等)を引き続き継続していきます。

・現在、遊休施設となっている旧保育所については、令和4年度、アイデアソンという事業を通じて、行政・村民・村外の関係人口の人達と協議して得た内容を参考に、引き続き実現可能な整備方法や整備財源などの研究及び検討を継続していきます。

・移住体験交流施設「むらんち」の利用促進と、下北山村の暮らしと関わりを届けるポータルサイト「きなりと」を通じた、移住促進及び関係人口の創出を引き続き継続していきます。

・親子ワーケーション(ディアルスクール)を通じて、都市と地方を結ぶ新しい留学制度の在り方を実証実験として、新たな移住及び二地域居住の促進を進めていきます。

◆新しい時代の流れを力にする関連では

・下北山村の魅力等の情報発信については、引き続きフェイスブック及びインスタグラム等、SNSなどを活用する他、昨年開発した「貞子村巡り」公式アプリを活用し来訪客の促進に努めていきます。

・また、ラジオ放送FMやまとの「きなりと☆しもきた!」による工夫を凝らした情報発信も引き続き実施し、下北山村の認知度を高めていきます。

・ダム湖利用者へのサービス向上を目的に、ふるさと納税を財源として新たにダム湖の水温情報がデジタルで得られる仕組みを整備し、ふるさ

と納税を財源に新たな来訪客の獲得を目指します。

◆結婚・出産・子育てを地域で支える支援として

- ・ 出産と育児に係る経済的負担の軽減を図るため、赤ちゃん誕生祝い金をはじめ、2歳までの乳幼児の紙おむつ購入助成、及び6歳未満の乳幼児を養育している方へのチャイルドシート購入助成を継続実施します。
- ・ また、令和5年度より不妊治療費等の助成を拡充し、一般不妊治療に加え、生殖補助医療（体外受精を始めとした新たな不妊治療）、及び不育症治療（2回以上の流産等を繰り返し子どもが持てない方への不妊治療）を受けている方への補助を実施し、子どもの出産を希望するご夫婦を支援していきます。

- ・ 母子保健事業についても、乳幼児健診、妊産婦健診及び新生児聴覚検査費用の助成を引き続き実施するほか、定期的に育児サークル及び育児相談会を開催し、育児中の保護者同士の情報交換の場を提供し、育児不安等の軽減に努めていきます。
- ・ 福祉医療費関係では、令和5年8月診療分から、子ども医療費の対象

年齢を中学生から高校生まで引き上げます。併せて、子ども・心身障害者・ひとり親家庭等医療費の高

卒卒業（18歳）までの一部負担金（通院500円、14日以上入院1,000円）についても、令和5年8

月診療分から撤廃し、保護者の方々の医療費負担軽減に寄与します。

- ・ 保育所の運営については、園庭側のカーテンを遮光カーテンに取り換えるとともに、現在設置しているカーテンを廊下側に移して部屋の中に光が入り難いよう工夫を凝らして、園児の皆さんが安心して午睡ができるよう改善を図ります。

◆暮らしやすい安心できる、きんりの郷づくりとして

- ・ 佐田公民館の男女別トイレの改修工事を実施します。

- ・ 令和4年度中に整備しておりました、軽自動車税関係手続きのオンライン化により、令和5年5月以降から継続検査（車検）における納税確認が電子的に可能となりました。また、固定資産税及び軽自動車税等の納税手続きの電子化により、納付書にQRコードを付けることになり、納税者がパソコンやスマホ等を利用

しての電子納付が可能となります。併せて、令和5年度から休日や夜間でも税や料金を支払うことができるようにコンビニ収納を導入し、納税者の利便性向上を図ります。

・ 2町6村で共同利用しております

戸籍システムについては、新たに更新する必要があることから、それに合せて住基ネットからの情報（住所の履歴）をオンラインで受信できるように設定変更を行い、利便性及び安全性の向上を図ります。

- ・ 国民健康保険事業については、令和6年1月から基幹システム（住基や税）との連携強化を図るため新国保システムへ移行します。これに伴い更なる事務の効率化に繋がっていきます。

- ・ 後期高齢者医療事業については、新規事業として保健事業と介護予防等の一体的な取り組みとして、歯科医師や歯科衛生士が高齢者のお口の健康状態をきめ細かに確認する事業を実施します。

- ・ 介護保険事業では、村内で生活する全ての高齢者の方が、生き甲斐を持つて安心して生活できる環境を実現するため、令和6年度から令和8

年度までの3年間の「介護保険事業計画(第9期)」を策定します。また、保健事業と介護予防の一体的な取り組みとして、リハビリ教室の充実を図るほか、公民館サロンの支援の強化を図り介護予防に努めます。

・ 健康管理事業では、毎年実施している総合健診やがん検診などの受診率向上に向けた広報等を活用した積極的な働きかけに努め、病気の早期発見及び日常の健康管理に繋がります。

- ・ また、心の健康相談を継続的に開催して精神的なサポート体制を維持するとともに、各種予防接種等を引き続き実施し、村民の皆様方の健康管理に努めます。

- ・ 高齢者福祉では、高齢者の友愛活動、社会貢献、健康づくりなど、社会的支援や見守り要請が強まること

- が予想されることから、老人クラブとの連携に努めていきます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策につきましても、国や県の動向も確認しながら国庫支出金を活用し、ワクチン接種の万全に努めていきます。
- ・ 診療所につきましては、地域の福祉施設との連携を深め、村民の方々

が安心して生活できるための新たな医療施設の整備事業として、令和5年度に診療所の新築工事に向けた基本計画及び実施設計の策定を行います。

・獣害対策では、「有害獣防除柵設置補助金」及び「獣害対策奨励補助金」を継続するとともに、担い手不足の対策として「猟銃免許取得補助金」も継続いたします。また、令和4年度に県からお借りして設置した遠隔監視、及び操作ができる捕獲檻は返還しましたが、その効果が見込まれましたので補助金により購入に係る費用を計上しています。

・安全な道づくりでは、村道池郷線の災害防除工事の継続、村道不動線の路側擁壁改修工事の継続、村道小佐田カシモチ線の新設工事の継続、村道寺垣内浦向線支線7号の改良工事の継続及び村道前鬼釈迦線崩落箇所災害防除工事を実施します。林道では、トボト谷線の環境保全工事を継続して実施します。

・簡易水道特別会計では、令和4年度から3カ年の計画の2年目となる池原浄水場の補修工事に係る予算を計上しております。また、簡易水道

特別会計については、令和6年度より法適用の企業会計を適用することとなるため、会計システム導入等に係る委託業務を県の共同発注で令和4年度に実施し、繰越事業として令和5年度にシステム等を整備します。併せて、企業会計適用に伴う例規整備も必要となることから令和5年9月議会において条例改正案を上程する予定としています。

#### ◆教育分野においては

・学校教育面では、将来を担う子どもたちの教育充実のために、令和4年度より9年制の義務教育学校として「下北山小中学校」が開校しました。令和5年度からは「欠学年」がなくなり、すべての学年が揃うことにより児童生徒数及び教職員の数も増え、充実した体制で開校2年目を迎えます。また、これまで同様、複式学級を回避するために村費教員を確保して単式学級を維持し、県下でもトップクラスのICT学習環境を活かして、ひとり一人に応じた個別最適な学びを目指します。

・中学生海外短期語学留学事業として、コロナ禍の中で、3年間中止していた海外短期語学留学事業を実施

します。期間は7月下旬から8月上旬の9日間で、上北山村との合同実施を計画しており、留学先はオーストラリアのケアンズを予定しています。対象者は後期課程の7年生から9年生で、生徒は下北山村9名と上北山村2名の計11名です。海外でホームステイをすることにより、見知らぬ土地や異文化に暮らす人達との交流を通し、語学の習得だけでなく様々な貴重な体験をすることで、大きな自信を得ることを目的としています。

・児童と生徒の保護者の経済的負担を軽減する支援対策として、小中学校における児童と生徒の給食費の無償化を始め、就学援助費や特別支援教育就学奨励費補助事業を継続して実施します。

・高等学校等の生徒の保護者に対しては、全ての保護者に高校生活応援補助金を交付するとともに、県立私立を問わず高等学校寮への入寮者支援として、寮費の一部を支援する事業を継続して実施します。

・放課後や夏休み等の子どもの居場所づくりでは、児童の放課後健全育成事業として、放課後児童クラブ

(学童保育)を継続して実施します。また、放課後の子ども居場所づくりとして、英語教室、森のび教室の放課後子ども教室を開設するとともに、コロナ禍により3年間休止していた夏休み寺子屋教室を再開します。

・社会教育関係では、文化活動事業として公民館教室を継続実施するとともに、文化展開催の充実を図ります。また、令和4年度にリニューアルした歴史民俗資料館においては、所蔵及び寄託されている古文書等を適切に整理保管するため、奈良女子大学と連携し、資料の分析・整理・保存事業を計画します。

また、令和5年は杉岡華邨先生の生誕110周年にあたることから、特別講演を始めとした記念事業を計画します。

・社会体育関係では、歩け歩こう大会やソフトボール大会等のスポーツ推進委員活動を始め、高齢者グラウンドゴルフ大会の開催や、市町村対抗子ども駅伝への参加等、村民の全世代を対象に健康生きがいづくり事業を実施します。

# いっ卒園おめでとう

## ございませす

桜が咲き、暖かい日差しが降り注ぐ3月27日、保育所の卒園式が行われました。

式中は、堂々とした返事をするなど、保護者や先生方に立派に成長した姿を見せてくれました。

4月からは義務教育学校に入學します。保育所での楽しかった思い出や、学んだことを活かして新しい学校生活でも頑張ってください。



(写真右から) 上田優起さん、北歩さん、田中しのんさん

## 第18回市町村対抗子ども 駅伝大会開催

### チーム全員で想いをつなぐ

3月4日(土)、檀原運動公園(檀原市)において「第18回市町村子ども駅伝大会」が4年ぶりに開催されました。

県内38市町村の小学5・6年の児童281名が参加し、男女3区間ずつの計6区間(9780M)を走る駅伝の部と、周回コースを走り時間を競うタイムトライアルレースの部が行われました。

下北山村は、小学5・6年生が駅伝とタイムトライアルレースに参加しました。沿道で見守る観客たちの大きな声援を受けながら、最後まであきらめずに一生懸命走る姿は、保護者の皆様や応援に駆けつけた方々に大きな感動を与えてくれました。

駅伝の結果は、36チーム中31位(タイムは41分38秒)で村の部では9チーム中6位でした。練習時よりタイムを大きく上回る児童もいて、チーム全体が最後まであきらめることなく、タスキをつなぎました。

このような大きな大会の中で走れた事が、貴重な経験となり、そして良い思い出になったことと思います。

放課後、駅伝大会に向けての練習

をご指導くださいましたスポーツ推進員の方、また応援に来てくださいました学校の先生、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## 空き家セミナー・相談会を 開催します！「事前予約制」

「空き家でお困りのことはありませんか?ぜひご相談にお越しく下さい!」

この度、空き家の予防啓発、利活用を促進するため、空き家コンシェルジュによる空き家セミナー(ビデオ)・個別相談会を実施いたします。空き家を貸したい方、売りたい方、活用を考えている方、近い将来空き家になる物件をお持ちの方など、空き家の相談に、丁寧にお答えします!

今後定期的な空き家相談会の開催を予定しております。

### 【概要】

- セミナー・個別空き家相談会(事前予約制)
- 池原公民館 5月13日(土)
- 池峰公民館 5月27日(土)
- 各回とも、
- セミナー(ビデオ) 13時~13時30分
- 個別相談会 13時45分~1組30分程度

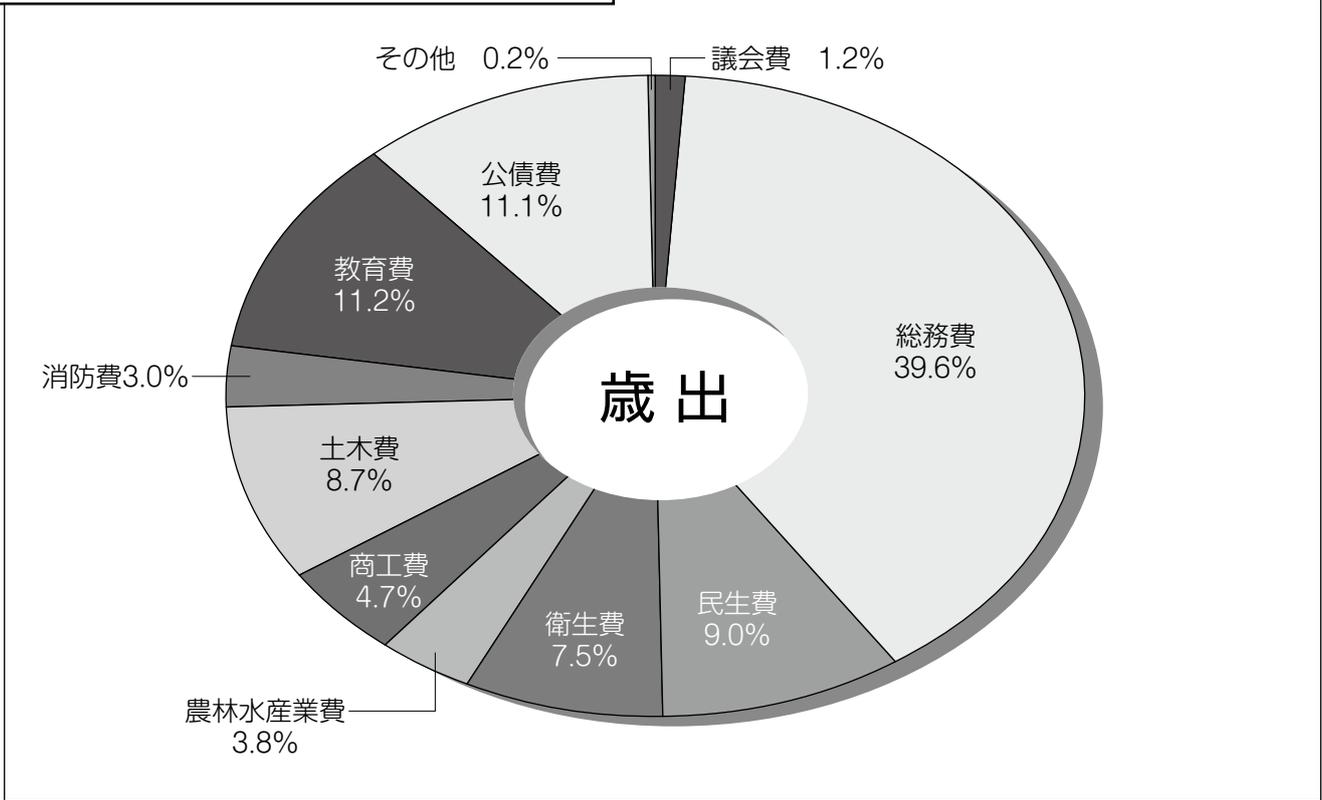
### 【予約方法】

空き家コンシェルジュへ電話またはメールにて予約  
電話 07468-9-0992  
担当 後岡(うしろおか)  
メール akityaconcierge@zeus.eonet.ne.jp

# 373万5千円(対前年度比33.1%増)

5年度当初予算の概要は次のとおりです。

## 円 (対前年度比43.4%増)



### 一般会計 (歳出・目的別)

(単位:千円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	合計
32,084	1,040,769	235,944	197,697	99,127	123,145	229,571	80,208	295,285	293,000	4,170	2,631,000

### その他の内訳

労働費	予備費	計
100	4,070	4,170

### 一般会計 (歳出・性質別)

(単位:千円)

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	予備費	合計
403,238	326,332	16,827	37,421	269,668	1,000,220	293,000	57,790	0	580	221,854	4,070	2,631,000

## 基金の状況 (一般会計分)

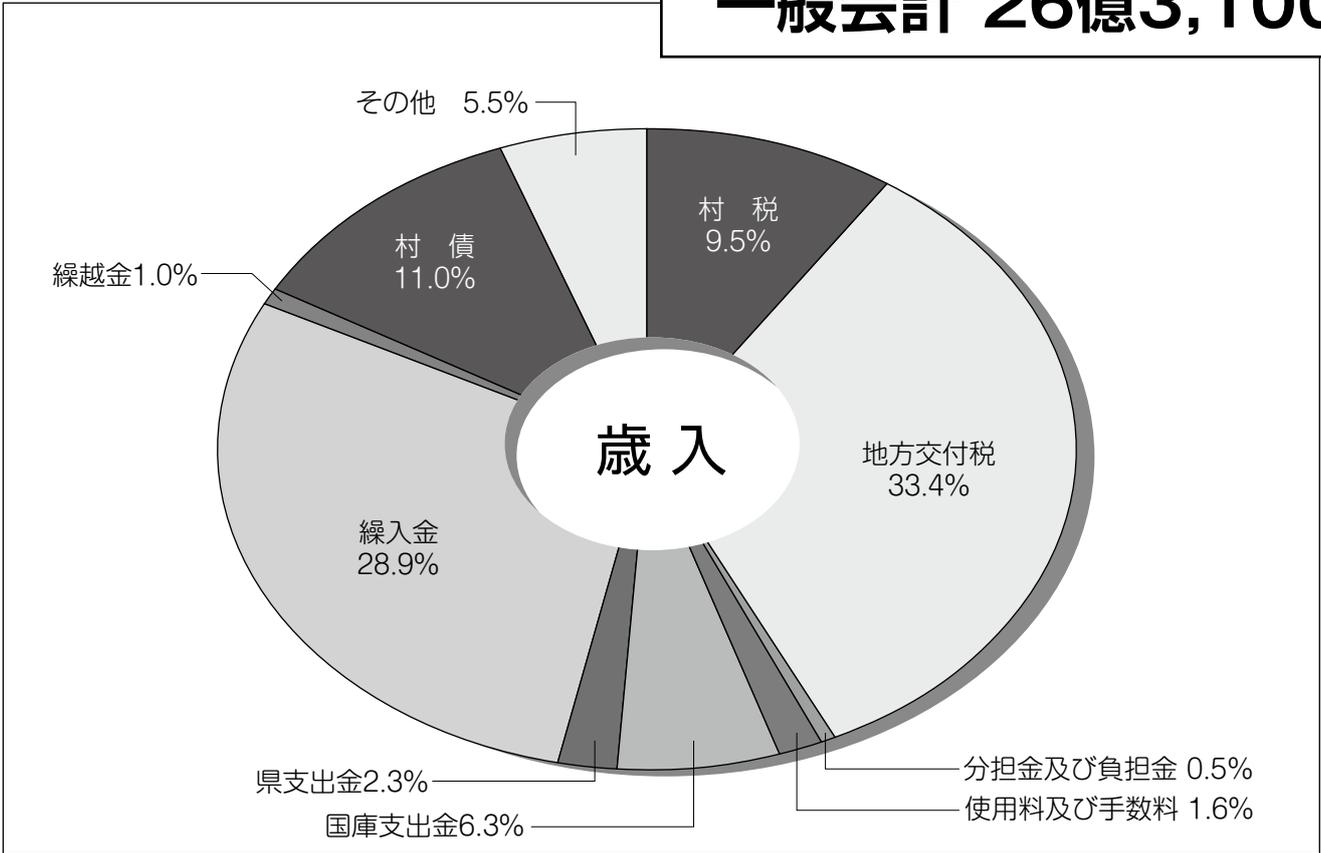
(単位:千円)

基金の名称	令和4年度末現在高(見込)	令和5年度末現在高(見込)	基金の名称	令和4年度末現在高(見込)	令和5年度末現在高(見込)
財政調整基金	1,613,992	1,409,792	公共施設基金	44,382	45,783
減債基金	125,665	127,676	消防団員特別出動等基金	61,344	61,665
庁舎建設基金	582,330	82,403	漁業施設基金	5,975	4,176
高齢者福祉施設管理運営基金	257,909	258,955	その他	237,528	236,753
			計	2,929,125	2,227,203

# 令和5年度 当初予算 総額33億

3月定例議会において承認された、令和

## 一般会計 26億3,100万



### 一般会計（歳入）

(単位:千円)

村 税	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	歳入金	繰越金	村 債	その他	合 計
251,196	880,000	23,450	30,788	166,707	59,253	759,726	25,000	290,100	144,780	2,631,000

### その他の内訳

地方譲与税	交 付 金	財産収入	寄 付 金	諸 収 入	合 計
35,368	27,510	12,675	51,001	18,226	144,780

※交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金  
地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金

## 特別会計 6億7,273万5千円(対前年度比4.0%増)

(単位:千円)

	国民健康保険	診 療 所	簡 易 水 道	池の平公園	スポーツ公園	介 護 保 険	後期高齢者	合 計
令和5年度	149,277	125,485	90,735	14,093	45,637	222,892	24,616	672,735
令和4年度	155,557	105,552	88,538	13,373	48,024	212,121	23,846	647,011
前年度比増減額	▲ 6,280	19,933	2,197	720	▲ 2,387	10,771	770	25,724
前年度比増減率(%)	▲ 4.04	18.88	2.48	5.38	▲ 4.97	5.08	3.23	3.98

**奈良女子大学との連携が深まっています！**

昨年9月に包括連携協定を締結した奈良女子大学との連携が深まっています。

村内在住の鈴木靖子さん（浦向）が奈良女子大学の職員として、大学と村との連携強化にご尽力いただいています。

奈良女子大学と村との主な連携は次のとおりです。

- ① 村の総合戦略などに活かすための集落調査・転出入などの人口移動統計調査
- ② 令和5年4月より大学生向けのオンライン授業「下北山学」の開講
- ③ 奈良女子大学人間科学科心理学コースと「(株)リヴァ」(上池原)との共同研究
- ④ 奈良女子大学の知見を活用した歴史民俗資料館(上桑原)での古文書整理

奈良女子大学とは今後ますます連携を強めていく予定です。



包括連携協定 締結式の様子 (昨年9月)



奈良女子大学 特任助教 鈴木靖子さん(浦向)

**下北山地域総合商社が「一般社団法人下北山つちのこパーク」になりました！**

令和3年度より特産品開発などをおこなっていた任意団体下北山地域総合商社が、この度「一般社団法人下北山つちのこパーク」という名前で法人化いたしました。

今後、村の特産品である「下北春まな」や「ジャバラ」、「アマゴ」「鮎」などの加工品開発をさらに進めていくとともに、“観光”にも注力し、観光に来られた方に村で出来る様々な体験を提供していく予定です！

活動拠点は、上桑原にある旧保育所になります。HPやLINEでイベント情報などを発信しておりますので、是非ご登録ください

村民の方向けの体験コンテンツなども充実させていく予定ですのでご期待ください。



# 下北山村ふるさと納税 “森と木と人と”



「作り手の想いを伝えたい。」この度、木工製品の事業者に注目したパンフレットが出来上がりました！  
 はし吉さんの手づくり吉野杉箸、スカイウッドさんのまな板、ウッドウォームズさんの木製遊具。  
 作り手のみなさんを主役に、製作風景をイメージしやすいよう工夫しました。  
 きなり館など村内各所で置いている他、下北山村HPでもPDFでご覧いただけます。

**有限会社はし吉 手づくり吉野杉箸**  
 吉野の木の魅力にとりつかれて



**お箸作りを始めたきっかけ**  
 独立して村でものづくりで何かできないかと吉野方面に行き、その当時忙しいのは割箸と三宝でした。三宝は複雑で機械に投資が必要で難しそうだったので、箸のほうが簡単だなと思って、それがきっかけで作り始めました。消耗品だけど、品質がいいものを作らないといけないので、信用されるのに5年かかりました。

**大切にしていること**  
 木の特質に逆らうと余計な時間がかかって、結果としていいものはできない。木の性質に沿ってやると仕事も楽だし刀物の持ちも違えます。「利は元があり」元の材料が良いと仕上がりが良くなる。元がよければ利益も出るし、いいものができる。製材所の親方によく言われた言葉です。いい材料があればいい製品になります。



**有限会社はし吉**  
 森岡 誠さん 直美さん



夫の誠さんは福岡出身。大阪でサラリーマンをした後、32歳の時に下北山村出身の直美さんと村にUターン。佐田地区で40年以上、吉野杉の工場を営んでいる。



**スカイウッド株式会社 まな板**  
 自然に魅了され 森と生きる仕事



**木工を始めたきっかけ**  
 20数年前に移住してきた当時、地の利を活かした仕事があったこと、木という素材に魅せられたことがきっかけです。自然の素材ゆえに同じものが二つとない面白さとその可能性を探究し、木工業を営んできた経験から森のこと、林業のこと、村の産業のことを考えるきっかけになりました。

**大切にしていること**  
 下北山村に来て感じた自然の木の形、模様、香り、質感に対する感動とわくわく感を大切に。製品になったときいかにその時の気持ちを、手にとって頂いた方々に感じて頂けるか、長く生活に溶け込んで頂ける魅力ある道具としての付加価値をつけられるかを考え、製品開発と製作に取り組んでいます。



**スカイウッド株式会社**  
 本田 昭彦さん 美紀子さん



夫の昭彦さんは埼玉県出身。結婚を機に下北山村出身の美紀子さんと村にUターン。2018年、木材の地産地消を目指し、スカイウッド株式会社を設立。指定管理者として北山製材所の運営に携わる。



**株式会社ウッドウォームズ 木製遊具**  
 子供たちが安全に木と触れあうために



**木製遊具を始めたきっかけ**  
 息子のために小さなブランコを作ったことから始まっています。森林組合に勤めながら、夫婦で10年くらい最初はブランコだけを売ってました。元同僚が参加して、最近は長男が村に帰ってきて、従兄弟も加わり5人体制で製作・納品・施工までやっています。今は、幼稚園、保育園の遊具の注文が多いです。

**大切にしていること**  
 トゲとか、さきくねど仕上げに気をつけています。どうしても木なので、節があったりすると、その部分はペーパーでトゲやさきくねをとるので大変です。子供の手は皮が薄いので、トゲが刺さらないようにしています。毎日触って遊ぶものなので。



**株式会社ウッドウォームズ**  
 大上 良平さん 弘美さん



快斗さん どん兵衛  
 大上さんご夫妻は奈良県上北山村出身。地元森林組合に12年勤めた後、下北山村で2017年株式会社ウッドウォームズ設立。



デザイン: 合同会社森のび 河野祐子 写真: 都甲ユウタ

令和5年2月分のふるさと納税実績  
 納税件数 45件  
 納税金額 952,000円  
 ご協力いただきました皆様  
 ありがとうございます。



下北山村ふるさと納税 SNS、ポータルサイトのリンクはコチラ



県内各地をつなぐ寄席イベントが開催されました

「トライアングルショー伝統話芸と音楽の調べ奈良県各地をつなぐ寄席」というイベント名で実施されたこのイベントは、文化振興のための奈良県の補助金を活用し、県内の文化団体が地域同士を「つなぐ」ことにより、相乗効果を生み出し、奈良県の芸術文化を広く楽しんでもらうことを目的として開催されました。

本イベントは昨年、下北山村のみで開催を予定していたところ、開催直前に新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていましたが、今年度は感染対策を行ったうえで宇陀市と下北山村の2カ所で開催することが出来ました。

2月は宇陀市にある「たかぎふるさと館」、3月は下北山村の「吉野杉ホール」で開催いたしました。3月5日(日)に行った下北山村の開催では80名近くの方が会場に足を運んでくださり、満員御礼での開催となりました。

当日は奈良家亮太さんによる落語から始まり、村内在住の音楽ユニットお2人によるポップス、下北山村の民謡披露、最後に旭堂南龍さんによる講談と、すばらしい内容の寄席イベントとなりました。

また翌日には講師、旭堂南龍さんによる小学4年生から中学3年生までを対象とした、講談について学ぶ出前授業も行われ、生徒たちは壇上で講談の体験を行ったりしながら、日本の伝統話芸について学びました。



奈良家亮太さん(落語家)



仲奈央子さん・阪本匠さん(音楽ユニット)



旭堂南龍さん(講談師)



宇陀市「たかぎふるさと館」での開催の様子



学校での出前授業の様子

### 下北山村オリジナルラジオ番組

## 「きなりと☆しもきた！」

### 今年度も引き続き放送していきます

昨年4月から開始した大和高田市に局を置くラジオ局、FMヤマトと下北山村によるオリジナルラジオ番組「きなりと☆しもきた！」ですが、今年度も引き続き放送していくこととなりました。

放送日時は今までと変わらず毎月第4木曜日 15時から16時に生放送で行ってまいります。

内容は主に村内のイベントや、フィッシング、キャンプなどのアウトドア情報、移住やワーケーションの最新情報、村の特産品紹介など様々な情報を発信していきます。

また、今年度からは村民インタビューと題し、村内在住の方々からあるテーマで村についてお話ししていただき、録音した音源を放送させていただくことも予定しております。

たくさんの方々の村民の方とともに、下北山村の魅力を一緒に伝えていければと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。



**番組名 「きなりと☆しもきた！」**

**放送日時 毎月第4木曜日 15:00～16:00**

※放送日が祝日と重なる場合は放送日時を変更いたします



(HP)



(ご視聴)

FMヤマトへ視聴はこちらから  
FMヤマト公式ホームページ

## 貞子の村巡り実施中

貞子とは…山村貞子。鈴木光司の小説及びその映画化作品「リング」シリーズに登場する架空の人物。女優、超能力者、YouTuber。



◀アプリの詳細およびインストール

昨年12月8日に、デジタル技術を活用した観光振興を図ることを目的に、AR(拡張現実)を活用した周遊観光アプリ「貞子の村巡り～下北山村でさだキャン～」をリリースしました。

リリースからこれまでテレビ、新聞、ラジオなど様々なメディアに取り上げていただけたこともあり、現在、村内及び村外の方まで多くの方々に楽しんでいただいております♪

村でも、村内の撮影スポットにアプリの使い方を説明したパネルを設置したり、AR貞子と撮影した写真を投稿していただくキャンペーン等を実施しており、今後も引き続き貞子とコラボした観光振興に取り組んでまいります。

貞子という怖いイメージが先行しますが、最近は貞子もキャラクターとしてYouTubeデビューを果たしたり、始球式にも参加したりと、様々な場面で活躍を見せています。今回も下北山村の観光促進の取組として良いコラボを果たしていきたいと思っています！  
ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



担当から一言



# 森林環境譲与税について 農林建設課林業係

こんにちは！みなさんは「森林環境譲与税」という言葉を聞いたことはありますか？R5年2月の村報で、上田百恵さんの作文にも取り上げられた「森林環境譲与税」について、そしてR5年度の下北山村での森林環境譲与税の使途・予算についてお知らせしたいと思います。

日本の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から「森林環境税」が創設されました。平成30年(2018年)からは、森林環境税をそれぞれの各市町村が主体的に考え、活用できるよう配分する「森林環境譲与税」が始まりました。森林の間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされています。

下北山村では、村が主体的に行う森林整備(間伐、作業道開設)、それを担っていく林業従事者の支援策等に活用していきます。また合同校舎の木質化や今後改修する村役場庁舎、教職員住宅の木質化・木造化のために村産材を使用。「村の木を、村の人が伐りだし、村の製材所で加工し、村内で使用する」地域の資源を地域で活用するサイクルへとつなげていきたいと思ひます。今後も下北山村の豊かな自然環境を大切にしながら、村らしく創意工夫をし限られた予算を有効に活用・検討していきます。

## 木材利用



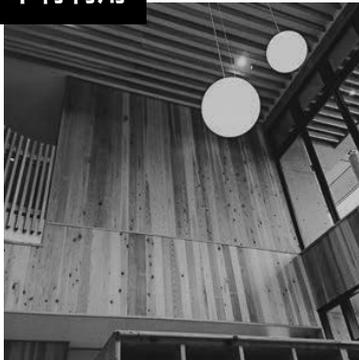
製材所

## 普及啓発

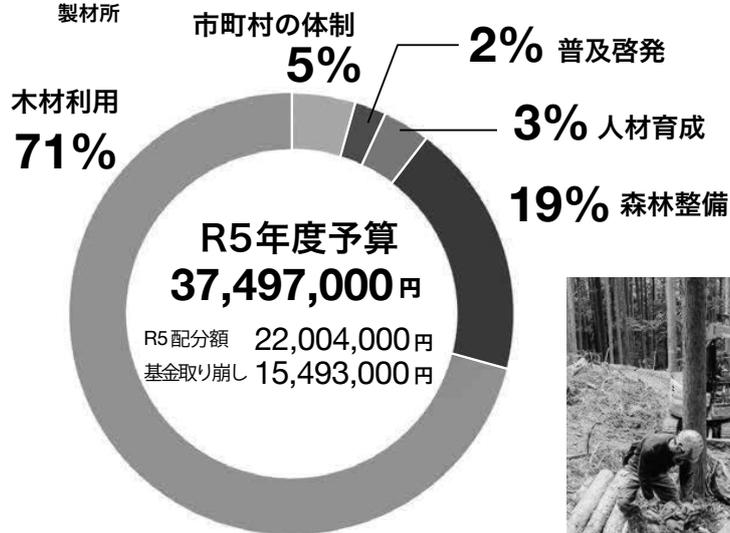


森のび教室

## 木材利用



公共建築



## 森林整備



作業道開設



間伐

※基金・・・特定の目的のために積み立てた資金のこと。この基金から使うことを基金取り崩しという。

# 下北山村 森のしごと記 - 第1回 -



地域おこし協力隊の長柄(ながら)です。この村に移り住んで半ちよっと経過しました。村の広報誌2月号でも自己紹介させて頂きましたが、この半年間は55歳にして初めての経験だらけであり、時にその経験に歓喜し、時に何回挑戦しても「できん」という悔しさにこっそり涙し、疲労困憊の体で帰宅し、翌朝木くずだらけのふとんで目覚め、まさか演習場に逆戻りかと錯覚するなどなど、おかげさまで新しい人生を極めてダイナミックに活性化させております。

そんな私ですが、この度、下北山村の地域おこし協力隊員として、村の里山で学んだ出来事を紹介させて頂くことになりました。

名付けて「森のしごと記」。驚きと感動の連続である森の出来事を、できるだけわかりやすくチョッピリ言葉で盛って、今月から偶数月の広報誌に掲載する予定です。この村の里山で行われている林業に興味のある方、林業にはそんなに興味ないけど近所の山のことは気になる方、遠くに聞こえるチェーンソーの音に惹かれる方、様々な思いがあると思いますが皆様よろしくお願ひします。

まず今月第1回目の森のしごとのご紹介は、「選木(せんぼく)」です。「選木」とは、間伐を行う時に、残す木と伐る木を選ぶ作業のことです。今回はこの工程を少し詳しく紹介したいと思います。

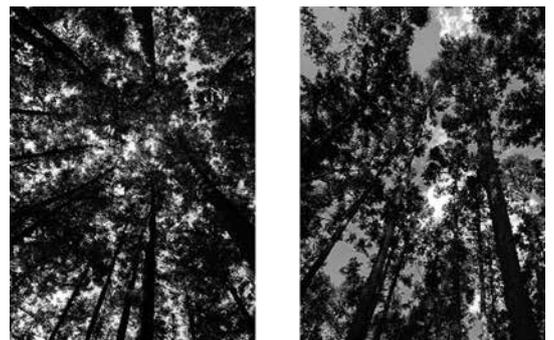
## 【選木(せんぼく)】

林業初心者にとって「選木」はと



選木した間伐する木にテープを巻く  
谷内隊員と見守る岡橋先生

ても心が苦しい作業です。去年の協力隊第1回講習において「長柄さん。目の前の木々の百年後の姿をイメージして、今、残す木と伐る木を選び分けて下さい。」って、私が林業初めて2時間くらい経った時の先生の指導です。私は「ひえ〜〜〜わかりません」って、つい口にしてしまいました。木を伐る前に木を見抜く力をつける。さすが林業史深い下北山村。指導も情け容赦なく深いです。続いて「なぜその木を選んだのか?」「その木を伐ることによって成長が促進される木はどれか?」そして元に戻って「百年後理想の森になっているか?」が問われます。そうです。「選木」とは、将来有望な木を見極め、その木に隣接する木を伐って空間を開け、伐られた木が受け取るはずだった日射や水などを振り分ける間伐作業の核心となる弱肉強食の工程です。森は、だいたい15年に一度(吉野ではもっと短い)この選木を経て間伐が繰り返し行われ成長していきます。私が経験した間伐でも、50年を超える木が対象となったりしていて、「長柄さん、この林齢55年生ですね。」って、今日の選木は私と同級生。なんか複雑な気持ち。それでも心を鬼にして、おそらくそのころ私はいない遠い将来の森の姿に思



間伐時期の森(左)と間伐後の森(右)  
間伐後は光が差込み明るくなる(滝の谷)

いを致し、今、選ぶべき木を見上げて進みます。林業は土地も時間も雄大です。

さて、冒頭の私の林業初日、小一時間見上げて必死に自分なりの品定めをして、都度、間伐対象とした木に「ごめん」とつぶやき黄色いテープを巻いてきた作業は、「ま、こんなもんやろ」という先生の言葉で休憩になります。先生続けて「谷内君、間違っ伐ってしまわんようにテープ外しといてな。」 つづく

QRコード

Instagram

QRコード

隊員紹介

# 協力隊と支援員のつづき

その111

今月号は仲が  
担当します。

東京から下北山村に来て4年目の春、地域おこし協力隊を卒業します。  
変わらない村の大自然と村の皆さんのあたたかさに甘え、自分がこの場所で誇れることや出来ることを見  
つけられた気がしており、地域をおこしてる、というよりも、地域におこされているような感覚でした。  
私が協力隊としてしてきたことに統一感は無いですが、少しでも誰かの為、村の為になれたのではないかな、  
と振り返っています。

BIYORI  
2019-2021

情報発信

音楽・声・映像

イベント

地域商社  
2022-2023



村内&村外の方向け  
カフェ営業、ワーケ  
ーションプロジェクト  
地域コーディネーター、  
奈良コープ協働事業、  
スマホ相談会、むら  
んち立ち上げ手伝い  
など



特産品ネット販売、  
役場情報発信チーム  
サポート(村公式  
LINE運用の土台づ  
くり)、村内オンラ  
インツアー配信、  
SNS運用など



旧中学校記録映像制  
作、前鬼くん声優、  
各種司会や進行役、  
星空鑑賞会ナレーシ  
ョン、村の紹介音声  
制作、CM大賞ナレ  
ーション&音源制作、  
ラジオなど



BIYORIイベント開催、  
音楽&ものづくりフェ  
ス(楽器づくりとセ  
ッションタイム担  
当)、三村フェスタ  
広報担当、下北山ア  
イデアソンファシリ  
テーターなど



各種モニターツアー  
対応、前鬼ガイド講  
習受講、体験コンテ  
ンツWEB販売、音  
楽療法カウンセラー  
勉強、経理関連など

上記のように「村内の方向けサービス」「外と中を繋ぐ役目」「情報発信やイベント」を中心に働いてきましたが、4月からは、この春から新たに動き出す『一般社団法人下北山つちのこパーク』のメンバーとなります(旧下北山地域総合商社。今月の村報に別途ご案内あり♪)

事務所は桑原の旧保育所になるので、ぜひお立ち寄りくださいね。  
また、大きな起業ではないですが、小さなサービスとしてオリジナル曲づくりサポート、曲のアレンジ、各所での演奏依頼など、お待ちしております。  
こんな方は是非ご相談ください。

- ・子どもや孫の誕生祝い、結婚記念に曲をつくりたい
- ・耳に残るような会社のオリジナルソングをつくりたい
- ・同窓会で〇〇年代の懐メロを弾き語りしてほしい

★一人一人に寄り添って、丁寧に相談しながら進めます♪

私事になりますが、初夏に第二子の出産を予定しています。色々なことを動かし始めるのは、しばらく先になるかもしれませんが、お休み中も村での生活を楽しみながら、音楽活動も細々と続けるつもりです。  
まだまだ駆け出しですが、YOUTUBEでの発信もはじめました! 下記のQRコードから観ていただけると嬉しいです。村の民謡やオリジナル曲、懐メロカバー、ライブ映像などの動画を載せていきます。

右上の写真は、今年3月5日に吉野杉ホールで行われたイベント時のもので、私はエレクトーン弾き語りをしました。村の皆さんを中心に80名近い方に来ていただき、皆さんのあたたかい笑顔と拍手に包まれ、協力隊を卒業できることを大変幸せに思います。

高齢化の進む小さな村では、仲良くしていただいた方が天国へ旅立ってしまうということに直面することが都心部よりも多く、さびしくなる時もあります。それでも、これからも引き続き、村民さんとのつながりを持ちながら暮らしていきたいと考えています。

最後になりましたが、地域おこし協力隊として働いた短い期間、温かく見守り協力してくださった村の皆さんと、働きやすい環境を用意してくれた役場の方々に対して、改めて感謝の気持ちをお伝えします。本当に、本当に、ありがとうございました。これからも、どうぞよろしくお願いたします☆



# 診療所医師

## 異動のご挨拶



みなさん、こんにちは。ようやく暖かくなって池原の桜も満開でしょうか。

今回は私事ですが、三月を以って転勤となりましたので御挨拶をさせていただきます。

私は下北山村診療所で二年間勤務させて頂きましたが、働き始めた当初からコロナが猛威を奮っており、発熱患者さんをたくさん診療させて

頂きました。私自身、ここまで感染症が流行っている状況での仕事が初めてであり、分からないことも多かったのですが、結果的には貴重な経験をさせて頂いたと思っています。

コロナの集団ワクチン接種も五回実施しましたが、保健センターや役場、診療所のスタッフの皆さんのご尽力のおかげで大きな問題なく、実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

また、村民の皆さんにも積極的にワクチンを接種して頂き、下北山村は県内でも早期から高い接種率を達成することができました。当村でも何度か流行はしましたが、幸い私が知る範囲では重症者や死者は出ていませんので、皆さんのワクチン接種や個人個人の感染対策のおかげかと思えます。

また、通常診療においては高齢の方を診させて頂くことが多いのですが、八十歳、九十歳を越えても元気なで過ごされている方も多く、私より健康なのではと思うほどです。

た。今まで丁寧な人生を歩んで来られたんだろうなと感じます。一方で病で苦しんでおられる方も診させて頂き、苦しみながらも人生を全うされる姿を拝見しました。そのような様々な人生の先輩方から生き様を学ばせて頂きました。

さて、四月からは私の前任であった田口先生が診療所に戻ってこられます。田口先生は私の在任中の二年間も産業医として当村に関わって下さいました。顔なじみの方も多いと思いますので、またお気軽に診療所へご相談いただければと思います。

最後になりますが、二年間と短い間でしたが、貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。まだまだ至らない点や反省点も多く、ご迷惑をおかけしたと思いますが、少しでも下北山村の皆さんのお役に立てたなら幸いです。

私は四月から奈良市の病院で働く予定です。少し遠方からですが、今後も皆さんのご健康とご多幸をお祈りしています。

下北山村診療所 根津大樹

### 休診日の変更について

4月1日より診療所医師が交替しました。これに伴い、休診日につきましても「毎週水曜日」へ変更となりますので、お知らせします。

#### 【診療時間】

午前8時30分～正午

(受付時間午前8時～午前11時30分)

#### 【休診日】

毎週水曜日(医師研修日のため)

ご不明な点等ございましたら、診療所までお問い合わせください。  
☎ 6-01330

# 保健センター からのお知らせ



下北山村の美しい桜が今年もきれいに咲いてくれましたね。4月を迎え、新しいスタートをきられた方も多いのでは？この時期は、慣れない環境で体調を崩されやすい方も多いので、十分に気を付けてくださいね。

◎健康スタンプラリー始まる！

本年度も、健康教室や介護予防教室、総合健診などの対象事業へ参加ごとに1回1ポイント（100円相当）のスタンプを進呈します。ポイントに応じて健康グッズや衛生品と交換できますー豪華賞品目指して楽しく健康づくりしてみませんか？

※スタンプカードは保健センターで配布中

## ◎ヨガ教室

ヨガはストレス発散にも効果があると言われてます。青空のもと、開放感あふれるヨガを体験しませんか？

【講師】 榊井 紋子先生

【日時】 4月12日（水）  
午前10時30分～正午

【持ち物】 バスタオルまたはレジャーシート、飲み物

【場所】 スポーツ公園イベント広場

【対象】 村内在住の方

【参加費】 無料

◎不妊治療費等の助成をしています

子どもの出産を希望する夫婦に対し、不妊治療・生殖医療・不育症に係る治療費用の助成をしています。申請には医療機関に記入いただく書類や、領収書が必要です。詳細については保健センターまでお問い合わせください。

## 【申込み・問い合わせ】

保健センター ☎6-00015

## ◎保健師のご紹介

みなさん初めまして。4月から新しい保健師として下北山保健センターにお世話になる山本と申します。下北山村には来たばかりなので、まだまだ分からないことも多いですが、みなさんとお話する中で色々なことを学んでいきたいと思えます。また保健師として地域の方々と今後お会いできることを楽しみにしています。よろしくお願ひします。



育児サークルの様子

## 駐在さん通信



### 春の行楽期・多くの車やバイクが村内を走行します

2月から3月にかけて、国道169号川上村・上北山村において車両同士の正面衝突が3件発生しています。内1件は運転手さんが亡くなる死亡事故でした。事故を防ぐために、

- ・カーブの手前で十分な減速、安全な速度で走行
- ・無理な追い越しをせず、時間と気持ちに余裕をもって安全運転
- ・シートベルト、チャイルドシートの確実な着用

### 交通事故に十分注意してください

シートベルト、チャイルドシートの着用は家庭から。特に小さいお子さんのいるご家庭で、シートベルト、チャイルドシートの着用を習慣付け、少しの移動でも面倒がらず確実に着用してください。これから気候が良くなり観光客の乗用車、オートバイが増加してきます。国道169号は重要な生活道路です。大きな交通事故が発生すれば、長時間の通行止めになる場合があります。交通事故を起こさない、遭わないために次のことを心掛けてください。

- ・速度を控えて安全な速度で
- ・カーブの手前で十分減速
- ・交差点では必ず安全確認

### 村民の皆さんへお願い

奈良県下では、毎日のように振り込め詐欺等特殊詐欺の不審電話が相次いでいます。手口も様々で、実際に被害に遭われている方もいます。

皆様には、特殊詐欺の具体的な手口を知っていただくとともに、家族や親戚、知人の方にも注意を呼びかけていただきますよう、よろしくお願ひします。

また、携帯電話をかけながらATMを操作している方を見かけたら、還付金等の詐欺被害に遭っている可能性がありますので、声かけをよろしくお願ひします。

皆さんが、今すぐできる防犯対策として、防犯電話を利用する方法があります。

防犯電話の活用や、怪しい電話にはすぐ返事せず、ご家族やご近所、警察に相談を！

### 警察官募集

令和5年度警察官採用試験の募集が開始されています。

第1回目の試験の受付期間は4月14日までです。

受験資格など詳しいことは駐在所にお問合せください。ご家族や知り合いの中で、警察官を目指されている方、チャレンジしてみようという方がいたらぜひ駐在所までご連絡ください。

# てんいち先生



## マイナンバーカード 平日夜間・休日窓口のご案内

下記の日程におきまして、ご予約いただいた方を対象にマイナンバーカードに関する窓口を開設いたします。利用を希望される方は必ずご予約下さい。

お仕事などで昼間来庁することが難しい方は、この機会にご利用ください。

### 【開庁日】

平日夜間窓口 17時15分～19時00分まで

4月18日(火)・5月17日(水)・6月15日(木)

休日窓口 13時00分～15時00分まで

5月14日(日)

### 【対象の手続き】

- ・マイナンバーカードの申請
- ・マイナンバーカードの受取り
- ・電子証明書の発行、更新
- ・暗証番号の再設定



証明書類の発行や料金の支払いなど、マイナンバーカード以外に関するお手続きはご利用いただけませんのでご注意ください。

住民課マイナンバーカード係 TEL：6-0001

謹んでお悔やみ申し上げます

岡部 フミヨさん(下桑原)  
2月23日逝去 享年95才

田中 進さん(佐田)  
2月25日逝去 享年79才

## 上池原に南都銀行旧北山寮を活用した 滞在型交流施設・シェアハウス「このま」が開設しました!

このたび南都銀行様よりご寄贈いただき、兼ねてより準備いたしておりました南都銀行旧北山寮のリフォームが完了し、滞在型交流施設・シェアハウス「このま」として運営する運びとなりました。

「このま」とは、山に囲まれたこの村を表す「木の間」という意味と、美しい村の風景を「このまま、将来に残していきたい」という意味を持っています。

「このま」は、株式会社SAGOJOと協働で運営していく予定です。

SAGOJOの2万5千人の会員の方々が、地域の労働力強化や教育・観光振興など、地域を盛り上げる為の拠点として運用してまいります。

「このま」を利用される方が自身の強みやスキルを活かして、村の困りごとや農作物の収穫のお手伝い、地域課題などにチャレンジするために、短期～中長期の滞在ができる施設となりますので、今後お手伝いすることなどを村内で募集する予定です。

### 施設概要

場所 上池原200-2 (旧南都銀行横社員寮)

施設 木造2階建て

1階部分 共同キッチン、共同トイレ、共同シャワー

2階部分 6畳二間 3室、共同トイレ



### 人の動き

令和5年2月28日現在

先月比

人 口	809人 (- 4)	転入	1人
男	374人 (- 3)	出生	1人
女	435人 (- 1)	転出	2人
世帯数	518戸 (- 3)	死亡	4人

発行 下北山村役場 〒639-3803  
奈良県吉野郡下北山村大字寺垣内983番地  
☎(代)07468-6-0001  
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>

村の情報を発信しています



広報誌に掲載しきれない写真や情報などをインターネットで発信していますので、ぜひご覧ください!



▲村の暮らしを届ける  
ウェブサイト「きなりと」



▲LINE



▲YouTube



▲Facebook



▲Instagram